

特発性黄斑円孔の形成過程及び自然閉鎖過程における網膜移動に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年2月27日～2021年3月31日

〔研究課題〕

特発性黄斑円孔の形成過程及び自然閉鎖過程における網膜移動

〔研究目的〕

特発性黄斑円孔の形成過程及び自然閉鎖過程における網膜移動を評価すること。

〔研究意義〕

黄斑円孔、黄斑上膜や黄斑浮腫などの疾患に対する硝子体手術では、黄斑を含む後極網膜の内境界膜剥離が広く行われています。2014年に我々は、特発性黄斑円孔に対する内境界膜剥離を用いた硝子体手術時に黄斑円孔の耳側及び鼻側網膜が視神経乳頭に向かって移動しており、黄斑円孔の大きさがその移動距離に相関することを報告しました。また、特発性黄斑円孔はまれに自然閉鎖することがありますが、それには内境界膜剥離は関与しません。特発性黄斑円孔の形成過程にも内境界膜剥離は関与しません。今回は帝京大学医学部附属溝口病院眼科で経験した特発性黄斑円孔の自然閉鎖例と円孔形成例において、形成と自然閉鎖前後で網膜移動を測定し評価します。もし、形成と自然閉鎖過程で網膜移動をしていないことがわかれば、特発性黄斑円孔手術前後の網膜移動は内境界膜剥離が関与している傍証となると考えています。

〔対象・研究方法〕

帝京大学医学部附属溝口病院眼科において2010年4月1日から2019年9月30日までに帝京大学医学部附属溝口病院眼科で特発性黄斑円孔形成過程と自然閉鎖過程を経過観察することができた患者さんです。対象人数は10から20名です。あなたの年齢、性別、糖尿病・高血圧の既往、角膜曲率半径屈折、視力、眼圧、眼軸長、角膜厚、光干渉断層計で測定した網膜脈絡膜像を診療記録より収集します。この研究のために新たに検査する必要はありません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院 眼科

〔個人情報の取り扱い〕

あなたのカルテの個人情報をこの研究に使用する際には、あなたのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。あなたと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、帝京大学医学部附属溝口病院眼科内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。この研究によって取得した個人情報は、帝京大学医学部附属溝口病院・教授・石田 政弘の

責任の下、厳重な管理を行い解析が行われます。

また、この研究の成果を学会で発表したり、医学論文にする場合にも、あなたが特定できる情報を使用することはありません。

[その他]

追加となる検査はありません。ご負担やお支払いの必要もございません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究実施責任者：	帝京大学医学部附属溝口病院眼科	教授	石田 政弘
研究情報管理責任者：	帝京大学医学部附属溝口病院眼科	教授	石田 政弘
研究実施担当者：	帝京大学医学部附属溝口病院眼科	教授	今村 裕
	帝京大学医学部附属溝口病院眼科	講師	竹山 明日香
	帝京大学医学部附属溝口病院眼科	助手	柴田 匡幾
	帝京大学医学部附属溝口病院眼科	助手	小宮 有子
	帝京大学医学部附属溝口病院眼科	員外助手	渡邊 天翔
	帝京大学医学部附属溝口病院眼科	シニアレジデント	藤本太一
住所：	TEL: 044-844-3333 (代表) [内線 8113]		